

平成26年度 行政評価事業別シート

	実計対象 ■	評価対象 ■	新規 □	完了事業 □	ゼロ予算事業 □	担当者	荒井
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3425
事務事業名	4183 商業振興事業						
所 属	150300 産業振興部・商業観光課						
施 策	05032600 商業の活性化						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	070102 商工費・商工費・商工業振興費					
	事業	030000 商業振興事業					
事業目的				事業概要・効果			
事業者・商業団体等が実施する事業に対し支援を行うとともに、創業希望者への創業支援を行い、商業の振興と空き店舗の解消及び市街地の活性化を図る。				商業動向調査や補助事業要望調査等を行い、事業者の意向等の情報収集を行うとともに、事業者・商業団体等が行う事業やイベント等への支援。 空き店舗等の活用補助による創業支援。 また、商店街街路灯のLED化に対する補助及び電気料補助等により商店街組織の活動を支援する。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
街路灯設置事業補助 708,000円 街路灯LED化事業補助4,318,000 街路灯電気料補助事業865,000 わざわざ店等開設支援事業(新規出店11)25,714千円 商業団体等が行う事業等に対する補助7,857千円	街路灯設置及びLED化事業補助368,000円 街路灯電気料補助事業709,000円 わざわざ店等開設支援事業(新規出店6)18,916千円 商業団体等が行う事業等に対する補助6,991千円
平成26年度 予定	平成27年度 予定
街路灯設置及びLED化事業補助300,000円 街路灯電気料補助事業700,000円 わざわざ店等開設支援事業11,380千円 商業団体等が行う事業等に対する補助7,000千円	街路灯設置及びLED化事業補助300,000円 街路灯電気料補助事業700,000円 わざわざ店等開設支援事業11,380千円 商業団体等が行う事業等に対する補助7,000千円

指標名							わざわざ店等開設支援事業による年間新規出店	
算式						単位	件	
年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標	10	12	13	14	15		
	実績	10	11	6				
指標選定の理由								
最終年度目標の根拠								
指標名								
算式						単位		
年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標							
	実績							
指標選定の理由								
最終年度目標の根拠								
指標名								
算式						単位		
年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標							
	実績							
指標選定の理由								
最終年度目標の根拠								

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		28,320	28,983
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	14	0
一般財源		28,306	28,983
人員数 (人)	正規職員	1.4	1.4
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員 コスト	正規職員	9,601.2	9,601.2
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	9,601.2	9,601.2
市民一人当たりの経費		0.7	0.7
総額		37,921.2	38,584.2

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	251	消耗品
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	27,897	
その他	172	

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	260	消耗品
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	28,478	
その他	245	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	商業の活性化は市民ニーズが高い、またまちづくりの観点からも空き店舗の解消が求められている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	活性化の主体である民間団体の活動が低調である。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや悪化
評価コメント	新規出店等を支援しているが、営業不振等により閉店する場合もあり、補助金の有効活用の面から再検討の必要がある。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

各団体のイベント等に対し助成しているが、単発的なイベントとなっており全体的な盛り上がりにつながっていない。また、わざわざ店等開設支援事業での新規出店も減少しており、空き店舗解消の鈍化が懸念される。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

「わざわざ店」事業については一定の事業効果が見込まれるが、商店街等を支援する事業のより一層の活用策が必要である。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

商業者・商業団体、新規創業者が希望する支援内容を把握し、各種助成制度の活用支援の継続について、商工会議所との連携により引き続き努める。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--